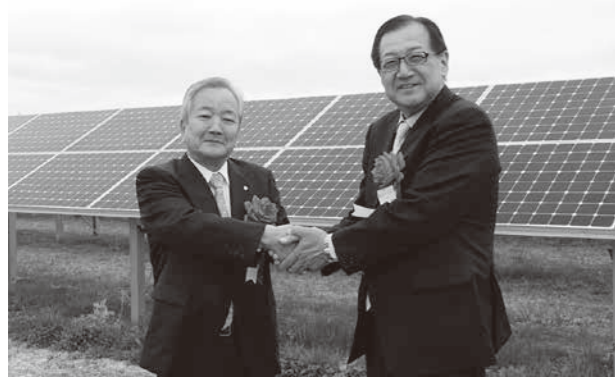


ユラス豊頃ソーラーパーク竣工式



5月15日、旧とよころ飛行場で営業運転を開始しているメガソーラー、『ユラス豊頃ソーラーパーク（ユラスエネルギーホールディングス 清水正己社長）』の竣工式が行われ、秋吉優執行役員、宮口町長、藤田議長、工事関係者ら約80人が出席し、完成を祝いました。

秋吉執行役員は「本日ここに竣工式を行うことができたのは関係者や地域の皆様のご理解とご協力の賜物です。今後20年この場所で発電する計画ですので地元の皆様に末永く愛されるよう努力します」と挨拶しました。同施設は45ha（札幌ドーム約8個分）の敷地で総出力2万2,000kw、約8,200世帯分の電力を供給します。

全道大会に向け結団式



7月17日に江別市で開催される北海道消防操法訓練大会に出場する豊頃消防団第1分団（石田哲郎団長）の結団式が、5月14日、豊頃消防署で行われました。

大会には第1分団から選抜された8人が出場し、ポンプの操法のタイムの正確さを競います。出場者を代表して坂口部長が「消防技術の向上と士気の高揚に専念します」と誓いの言葉をのべました。

【出場団員】
坂口功成部長、若山達利班長、渡部大地班長、越後秀顕班長、門晃嗣さん、米澤理さん、赤澤良一さん、武内創さん

豊頃医院に新院長



平成27年5月より菌常明院長が町立豊頃医院に着任されました。菌院長は市立釧路国民健康保険音別診療所を今年の4月に退職し、5月に豊頃医院に着任されました。「診療所では様々な患者、病気に触れる機会がありますので、勉強になります。新しい人も採用になったので、若い人から学んでいきたいです」と院長が言うように、新たに事務員の寺尾さん、北原さんを迎え、心機一転の豊頃医院。

「色々な縁があり、今回務めさせていただくこととなりました。医者だけでなく、看護師、事務員含めて患者さんの様々な要望に応えられるよう病院一丸となって努力していきます。LOVE♥TOYOKORO!」と笑顔で語ってくれました。

伊関選手招きバレーボール教室



5月9日、総合体育館で豊頃町制50周年記念事業の一環として、日本リーグで活躍されている伊関悠さんを講師に招いて町内の小中学生を対象としたバレーボール教室が行われました。伊関さんは豊頃中学校、帯広南商業高校を経て「日立リヴァーレ」に入団し、活躍されています。当日は伊関さん自身も腕を磨いた少年団、中学校の生徒たちが訪れ、先輩の指導に熱心に耳を傾けていました。



防災の意識高揚



5月17日、茂岩5区行政区（田村守人区長）と行政区内の業者（協立機構：山保崇社長、大進建設：松原敏行社長、門工業：澁佐信一社長）が同区が本年策定した地域防災計画に基づき災害時の住民避難等に関する協定を締結しました。また、豊頃二区行政区（小澤文雄区長）では、3月29日の定期総会で役場総務課長と、消防署救急係長を講師に招き、防災講習会を開催するなど、各行政区で地域防災に対する意識向上が図られています。

大津で沖出し訓練



5月15日、大津漁協（茅野優組合長）は漁船を沖合に避難させる際に要する時間を調査するための沖出し訓練を行いました。訓練には、大津、浦幌町厚内の両漁港で漁船が参加し、安全と見込まれる水深20メートル（沖合3.2キロ前後）の地点までにかかった時間は15～20分程度でした。また、訓練に伴って、大津地域づくり協議会（前川剛司会長）が大津地域コミュニティセンターで炊き出し訓練を行い、訓練参加者に食事を提供しました。

町公共育成牧場で入牧



5月22日から町内3か所にある二宮、湧洞、トイトッキの町公共育成牧場で預託牛の入牧が行われました。二宮牧場で約700頭、湧洞牧場で約330頭、トイトッキ牧場で約145頭が入牧し、10月末までの約5か月間、飼主から離れ、広い牧場でんびり過ごします。朝早くから運び込まれた牛たちは、獣医や農協職員らの手によって、耳に虫除けタグを取付けられ、駆虫などを経て牧場に放されました。

大津クリーン作戦



5月1日、大津小学校（合掌浩孝校長）の児童と教職員・PTA・大津地域づくり協議会（前川剛司会長）・大津生涯教室『日の出会』（山田久利会長）など40名が参加し『クリーン作戦』が行われました。

道道大津旅来線沿いの片道5キロほどの区間で6か所に別れて行われ、道路脇や駐車場などのごみを火ばさみを使って拾い集めました。

観光シーズンを前に環境整備



5月22日、本格的な観光シーズンを前に、大津漁港・湧洞湖周辺の海岸沿いで、ごみ拾いの環境整備を実施しました。

この日は、豊頃町観光協会（大谷友則会長）と十勝川魚つきの森推進協議会（茅野優会長）を組織する町内の農協、漁協、商工会、建設業協会と大津漁港建設利用促進期成会などの団体や帯広開発建設部、帯広建設管理部などの関係者らおよそ156人が参加して、空き缶や空き瓶、ペットボトルなどのごみを約1時間にわたり拾いました。

魚つきの森で植樹



5月23日、安骨の町有林で、十勝川魚つきの森推進協議会（茅野優会長）による『十勝川魚つきの森植樹祭』が行われました。

当日は、豊頃の各小学校、大津漁協、豊頃農協、豊頃町商工会、豊頃町建設業協会、帯広建設管理部や十勝総合振興局など15団体、約100人が参加し、900本のエゾアカマツの苗木をスコップや鍬などを使って1本1本丁寧に植えました。



▽はるにれは見ていた 広報とよころ

議会だより

社協だより

役場だより

▽はるにれは見ていた 広報とよころ

議会だより

社協だより

役場だより